

## 再発予防策の提案に対する回答

### 1 原因究明と再発予防策の検討

今回の事故がどのような原因と経緯で発生したのかを明らかにし、それを全市民に公開してください。また、再発予防策については、市だけでなく、学校、警察、自治会、交通安全の専門家等からなる検討会を設置し、具体的かつ有効で持続可能な予防策の策定をお願いいたします。

(回答)

事故原因などの公開の時期や内容については、事故検証の進捗状況や個人のプライバシーの問題などから、警察の発表に準じたものとなります。

今回の事故については、9月30日(月)に、下吉田町の事故現場で合同現地調査を行い今後の対策について検討を行いました。この調査には、香川県警・県くらし安全安心課・県中讃土木事務所・市土木都市計画課・市市民課・市教育委員会・東部小学校が参加しました。参加者全員で、現場の状況を確認し、県道の路面標示や看板の設置、また安全教育の充実について話し合いを行いました。

善通寺市で交通死亡事故が発生した場合は、1週間内には合同現地調査が行われるのが通常ですが、9月に香川県内で死亡事故が多発したことから、警察の日程調整により、今回については実施に時間を要しています。

そのため、この合同現地調査を待たず、広報車による交通安全の放送巡回を開始し、特に事故のあった地区を重点的に巡回しています。また毎朝小学校の通学路で立哨指導をしている市の交通指導員については、指導員全員に事故の発生について周知し、立哨指導の強化をお願いしました。

教育委員会としましては、交通安全教育の徹底について、改めて各学校に周知するとともに、児童・生徒に対して、交通ルールの遵守や、交通安全の大切さを繰り返し指導するよう指示しました。

また、学校においては、教員による下校見守りを強化するとともに、地域ボランティアによる活動の見直しや、交通指導員に対する下校時にも立哨していただけないかなど、関係団体にも働きかけを行っております。

### 2 通学路の明確化

通学路を明確に指定し、歩道の確保やガードレールの設置、また、低学年の児童にも通学路であることがわかるような道路塗装等、具体的な安全策を講じてください。

### 3 道路の工夫

通学路に指定された道路にはイメージハンプや狭さくの設置、信号の歩車分離化など、車両のスピードダウンや人と車両との接触を避ける工夫を施してください。

(2及び3の回答)

本市においては、毎年1回、交通安全総点検として、市内小学校8校区のうち1校区を選定

し、道路管理者、学校関係者、交通指導員、警察などのご協力を得ながら通学路の安全点検を行い、現地においてガードレールなどの交通安全施設の設置の必要性について判断し、順次必要な対策を講じております。

また、この総点検以外にも、要望があれば随時、市に申し出ていただいたうえで、警察との合同で同様の現地診断等を行っております。

平成 26 年度からは、児童の歩行エリアを強調し通行する車両のスピード抑制を促すため、通学路にグリーンベルト（道路塗装）を設置しており、横断歩道の手前には、注意喚起のため、路面標示や立体的に見せるイメージハンプの設置も行っております。

今後とも、警察、学校関係者、地域の皆様と連携して、ご提案いただいたような交通安全施設の設置も含め、子供たちが安心して通学できる環境整備の実施に努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

#### 4 児童・生徒の視認性の向上

児童・生徒、子ども乗せ自転車等には反射材を配付し、帽子や通学かばん、自転車ヘルメット等に付けるよう周知してください。

また、上記「1」と重複しますが、今回のような重大事故が発生した際には、いち早く（遅くとも事故発生日の2日後までに）その事故の概要および再発防止策を、全保護者および関係者にお示しいただきますよう合わせてお願ひ申し上げます。重大事故が発生しますと、児童・生徒はもとより、保護者・関係者も大きな衝撃を受けます。何が起きたのか、二度と同じ事故を起こさないために、学校は、教育委員会は、市は何をどう取り組もうとしているのか、をご説明いただくことで、児童・生徒、そして保護者・関係者もただ悲しみに混乱するばかりではなく、起きたことに向き合い、今後の方向性について冷静に考えることができます。

#### (回答)

現在、善通寺市内の児童・生徒などには次のもの（反射材付き）を配布し、常に装着しておくようお願ひをしています。

保育園児：鈴付きリボン、こじかワッペン

幼稚園児：黄色腕章、こじかワッペン

小学生：黄色腕章、黄色帽子、ランドセルカバー、交通安全ワッペン

中学生：反射材タスキ

さらに、キャンペーンやイベント開催時には反射材利用推進のチラシと反射材グッズを配布しています。

学校においては、交通安全教育において、交通事故予防のために、車等からの視認性を向上が大切であることを指導し、身の周りの物には配慮するとともに、反射材等をつけることを呼びかけています。

また、今回のような重大事故が発生した場合は、関係者に対しまして、出来るだけ早期に、学校や教育委員会の取り組みなどを示しますとともに、知り得る情報は限られますが、その事故の概要などもお知らせしていきたいと考えています。